

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		消防団施設整備事業（消防ポンプ自動車購入）						予算事業名		消防ポンプ自動車購入事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法				
			09	01	03	2003	経常経費						
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり（防災・防犯・安全）											
		④消防・救急体制の強化						担当課係等		防災安全課			
1消防団施設の整備・更新													
事業期間		継続（平成28年度～令和 4年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
消防団へ配備している車両（ポンプ自動車10車両、指令車、軽広報車）を順次更新することにより，地域消防力の強化と火災その他の災害防御体制の強化を図る。消防車両の安全運転の意識向上。							点検時において，ポンプ機能の低下等が指摘されている。消防車両の走行時の記録保存。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
老朽化した消防車両（車齢15年を超過するもの）の更新 第7分団車両（平成14年式 2t）の更新							結城市域の家屋等防火対象物 消防車両						
							【事業をとりまく環境の変化】 消防団員の中には，オートマ限定の運転免許取得者が出てきており，それに対応すべく購入時にオートマチックの消防車両を選択することができる。又，準中型免許の新設により消防車両も対応して行く必要がある。 緊急走行時等の記録保存及び安全運転の意識向上を進める必要がある。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
第4分団車両（平成17年式 2t）				第10分団車両（平成17年式 2t）				第3分団車両（平成18年式 2t）					
■事業費													
			R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	14,600	16,500						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	5,256	5,901						
歳入計（千円）			19,856		22,401								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）								
	11	役員費	224		250								
	17	備品購入費	19,580		22,099								
	18	負担金補助及び交付金	11		11								
	26	公課費	41		41								
歳出計（千円）（A）			19,856		22,401								
伸び率（％）					12.81								
備 考	総合計画 84 ページ 予算書156 ページ												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	老朽化消防車両の更新	台	目標	1.00	1.00	1.00
	老朽化（車齢15年超）消防車		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	更新車両数	台	目標	1.00	1.00	1.00
	新規消防車両		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	火災を主とする災害時に使用する車両であるため、計画的な更新は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	大規模な修繕が発生する前に更新することにより、コスト削減を図る。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	順次更新をしているため、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	車両を更新することにより、消防活動における安全性、確実性が向上している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順次更新を行うことで、大幅に耐用年数を経過している車両はなくなった。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
災害時に活動を行う緊急車両であるため、一定の年数経過した車両の更新は必須だが、過去に2台更新した年度があるため、車両の状態を鑑みて調整しなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
車齢と同時に、修繕などの状況を考慮しながら更新計画を作成していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 饗装品及び搭載品の必要性、必要数量を精査して購入する。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	